

科目名	障害者福祉		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	植戸 貴子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
本科目の目的・ねらいは、①障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する、②障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する、③障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する、④障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する、の4点である。 また到達目標は、①障害の概念と特性が理解できる、②障害者の生活実態やこれを取り巻く社会環境について理解できる、③障害者福祉の歴史や障害者に対する法制度について理解できる、④障害者と家族等の支援における関係機関と専門性の役割について理解できる、⑤障害者と家族等に対する支援の実際を理解できる、の5点である。				
[授業概要]				
障害の概念と特性、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境、障害者福祉の歴史、障害者に対する法制度について理解する。また、障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割及び障害者と家族等に対する支援の実際を理解する。 毎回の授業では、担当教員の障害者施設でのソーシャルワーカーとしての実践経験や地域で暮らす障害者と家族の地域活動への支援経験を活かして、障害者や家族の生活実態や支援のあり方を具体的に考えられるような講義を展開していく。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
各回、予習復習合わせて4時間程度の主体的な学修を行うこと。具体的には、前回の授業内容や小テストを復習し理解するとともに、次回の授業の予習をしておくこと。また、新聞記事・ニュースやボランティア活動等を通して、障害のある人たちの福祉課題に関心を持つこと。				
[授業計画]				
1. 障害概念と特性の理解および障害の基礎的理解(ICF、障害の定義と特性、障害の医学的・心理的側面の基礎的理解) 2. 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境 3. 障害者福祉の歴史:障害者福祉の基本的理念と障害観および障害者処遇の変遷 4. 障害者福祉の歴史:障害者権利条約・障害者基本法・障害者福祉制度の発展過程および障害者福祉の現状と施策 5. 障害者に対する法制度:障害者総合支援法－1(概要・障害福祉サービス・相談支援) 6. 障害者に対する法制度:障害者総合支援法－2(障害支援区分・支給決定・自立支援医療・補装具・地域生活支援事業・障害福祉計画) 7. 障害者に対する法制度:身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法 8. 障害者に対する法制度:児童福祉法・発達障害者支援法・障害者虐待防止法 9. 障害者に対する法制度:障害者差別解消法・バリアフリー法・障害者雇用促進法・障害者優先調達推進法など 10. 障害者と家族等の支援における関係機関および関連する専門職等の役割 11. 障害のある人の生活と障害の特性に応じた支援(障害者の就労の支援を含む) 12. 障害領域における社会福祉士および精神保健福祉士の役割と障害者・家族等への支援の実際(多職種連携・協働を含む) 13. まとめ				

科目名	障害者福祉	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	植戸 貴子		
[成績評価方法] 試験(70%)・小テストおよびレポート課題(20%)・授業への取り組み状況(10%)で評価。 [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストおよびレポート課題の評価は、翌週の授業において解答解説等によってフィードバックする。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:福祉1-1／多様な福祉課題を客観的に読み解き、その解決法を見出すために必要な社会福祉の専門的な知識を備えている。 成績評価方法:小テスト・試験 学科DP番号／DP内容:福祉2-1／家庭・地域社会・職場などで発生する多様な福祉課題に気づき、それをクリティカルに読み解くために求められる思考力を有している。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:福祉3-1／家庭・地域社会・職場において一市民としての自覚を持ち、また社会福祉専門職としての使命感を持って、社会に貢献していくための主体性を備えている。 成績評価方法:授業への取り組み・試験 学科DP番号／DP内容:福祉3-2／現代社会における人びとのダイバーシティ(多様性)を尊重し、すべての人を等しく大切にできる柔軟で寛容な姿勢を有している。 成績評価方法:授業への取り組み・試験 [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み・試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:試験・小テスト 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 [教科書(ISBN)] 書籍名:最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座・第8巻「障害者福祉」第2版 著者名:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 出版社名:中央法規出版 ISBN:9784824301512 [参考書(ISBN)]			